



第1章

計画の策定について

第2章

これまでの取組の  
成果と課題について

第3章

計画の基本的な  
考え方について

第4章

施策の展開について

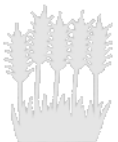
第5章

計画の推進体制と  
進捗管理について

資料編

# 資料編

---





## 1 帯広市食育推進条例

十勝・帯広は、日高山脈や大雪山系などに囲まれ、十勝川水系の清流や国内有数の日照時間など、恵まれた自然環境を有する地域である。明治 16 年の晩成社の入植以来、先人たちのたゆまぬ努力により、広大な原野に豊かな耕地が開かれ、今日では国内有数の食料基地にまで発展してきており、私たちはこの地で生産される安全で良質な農畜産物を生活に取り入れながら、豊かな暮らしを営んできた。

「食」は、生命の源であり、健全な食生活は、健康で心豊かな生活を送る上での基礎となるものである。しかしながら、近年、社会経済情勢や人々の生活スタイルが大きく変化し、時間的・精神的・経済的にゆとりのない生活を送る中で、私たちは「食」の大切さを忘れてしまいがちである。それに伴い、不健全な食生活による生活習慣病等の増加をはじめ、大量の食品廃棄物の発生や家庭等における食の伝承力の低下、産地や安全性などにこだわらず食材等を選択する人がいるなど、様々な問題が生じてきている。

こうした状況の中、市民一人ひとりが、今一度「食」の大切さを見直し、「食」に関する正しい知識と「食」を選択する力を身につけるとともに、我が国を代表する食料基地に住む私たちが、十勝・帯広産の安全で良質な農畜産物に誇りを持ち、積極的に消費していく必要がある。

ここに、食育に関する基本理念を明らかにし、豊かな自然と食に恵まれ、食や農業などの資源を最大限に生かしたまちづくりを進めているこの帯広市において、すべての市民が一丸となって「食育」に関する取組を推進していくため、この条例を制定する。

### 第1章 総則

#### (目的)

第1条 この条例は、食育の推進に関する基本理念を定め、市、市議会、市民、教育関係者等、保健医療関係者等、農業者等及び食品関連事業者等の役割を明らかにするとともに、食育に関する施策の基本となる事項を定めることにより、市、市議会及び市民等が一丸となって、食育に関する取組を推進し、もって市民が心身ともに健康で心豊かな生活を送ることができる社会の実現に寄与することを目的とする。

#### (定義)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 食育 様々な経験を通じて、食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることをいう。
- (2) 教育関係者等 教育及び保育に関する職務に従事する者並びに教育及び保育に関する団体をいう。

## 第1章

### 計画の策定について

## 第2章

### 成果と課題について これまでの取組の

## 第3章

### 計画の基本的な 考え方について

## 第4章

### 施策の展開について

## 第5章

### 計画の推進体制と 進捗管理について

### 資料編



(3) 保健医療関係者等 保健、医療（歯科医療を含む。以下同じ。）及び介護その他の社会福祉（以下「保健医療等」という。）に関する職務に従事する者並びに保健医療等に関する団体をいう。

(4) 農業者等 農業を営む者及び農業に関する団体をいう。

(5) 食品関連事業者等 食品関連の事業者及び食品関連事業に関する団体をいう。

#### （基本理念）

第3条 食育は、食に関する適切な判断力を養い、生涯にわたって健全な食生活を実現することにより、市民の心身の健康の増進及び豊かな人間形成に資することを基本として行われなければならない。

2 食育は、日常の食生活が自然の恩恵及び食に関わる様々な人々の活動に支えられていることへの認識や感謝の気持ちを育むことに加え、生産から消費に至るまでの「食の循環」が、環境に与える影響に関する理解を深めることにより、食品廃棄物の削減等、市民の環境に配慮した食生活等の実現に資することを基本として行われなければならない。

3 食育は、食に関する多様な体験機会の提供のほか様々な活動を展開し、十勝・帯広の農畜産物及び食文化等に対する市民の関心及び理解を深めることにより、地産地消及び食文化の継承に資することを基本として行われなければならない。

#### （市の役割）

第4条 市は、前条に定める基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、食育の推進に関する総合的な施策を策定し、計画的に実施するものとする。

2 市は、市民に対して食育に関する施策の普及啓発に取り組み、市民の理解を得よう努めるものとする。

3 市は、市議会、市民、教育関係者等、保健医療関係者等、農業者等及び食品関連事業者等との協働により、食育の推進に取り組むよう努めるものとする。

#### （市議会の役割）

第5条 市議会は、基本理念にのっとり、市の食育に関する施策が効果的に推進されるよう、施策の実施状況の確認等に努めるとともに、市及び他のものが実施する食育の推進に関する活動に協力するよう努めるものとする。

#### （市民の役割）

第6条 市民は、基本理念にのっとり、食に関する理解を深め、適切な判断力を養うことで、健全な食生活の実現に努めるとともに、市が実施する食育の推進に関する施策に協力するよう努めるものとする。

2 保護者は、食生活の中で、子どもたちが健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことができるよう、子どもたちに必要な教育等を行うよう努めるものとする。

#### （教育関係者等の役割）

第7条 教育関係者等は、基本理念にのっとり、食に関するあらゆる機会及び場所を



利用して、子どもたちの食に関する関心及び理解を深めるよう努めるとともに、他のものが実施する食育の推進に関する活動に協力するよう努めるものとする。

#### (保健医療関係者等の役割)

第8条 保健医療関係者等は、基本理念にのっとり、食に関するあらゆる機会及び場所を利用して、市民の食に関する関心及び理解を深めるよう努めるとともに、他のものが実施する食育の推進に関する活動に協力するよう努めるものとする。

#### (農業者等の役割)

第9条 農業者等は、基本理念にのっとり、農業に関する情報及び体験機会を積極的に提供し、自然の恩恵や食を生産する仕事の重要性について、市民の理解を深めるよう努めるとともに、他のものが実施する食育の推進に関する活動に協力するよう努めるものとする。

#### (食品関連事業者等の役割)

第10条 食品関連事業者等は、基本理念にのっとり、安全性の高い食品の提供及び食に関する幅広い情報提供に努めるとともに、他のものが実施する食育の推進に関する活動に協力するよう努めるものとする。

## 第2章 施策の基本となる事項

### (家庭における食育の推進)

第11条 市は、家庭における食育の推進のため、食に関する知識の普及及び情報の提供等により、市民の健全で環境にやさしい食生活の実践が図られるよう必要な施策を講ずるものとする。

### (学校、保育所等における食育の推進)

第12条 市は、学校、保育所等における効果的な食育の推進を図るため、食に関する指導内容及び食に関する多様な体験機会の充実等により、子どもたちの食に関する関心及び理解が深まるよう必要な施策を講ずるものとする。

### (生産者と消費者との交流の促進)

第13条 市は、生産者と消費者との交流の促進等により、両者の相互理解が進み、食や生産者への感謝の気持ちが深まるよう必要な施策を講ずるものとする。

### (地産地消の促進)

第14条 市は、十勝・帯広で生産された農畜産物の学校、保育所等における利用を促進するとともに、地域内における積極的な消費が図られるよう必要な施策を講ずるものとする。

### (食文化の継承の促進)

第15条 市は、十勝・帯広の特色ある食文化が引き継がれていくよう必要な施策を講ずるものとする。

## 第1章

### 計画の策定について

## 第2章

### 成果と課題について これまでの取組の

## 第3章

### 計画の基本的な 考え方について

## 第4章

### 施策の展開について

## 第5章

### 計画の推進体制と 進捗管理について

### 資料編





## 第1章

### 計画の策定について

## 第2章

### これまでの取組の 成果と課題について

## 第3章

### 計画の基本的な 考え方について

## 第4章

### 施策の展開について

## 第5章

### 計画の推進体制と 進捗管理について

### 資料編

## 第3章 推進体制等

### （食育推進計画）

第16条 市は、食育に関する取組を総合的かつ計画的に推進するため、食育基本法の規定により、帯広市食育推進計画を策定するものとする。

### （財政上の措置）

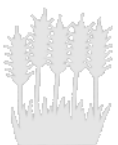
第17条 市は、食育の推進のために、必要な財政上の措置を講ずるよう努めるものとする。

### （委任）

第18条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

### 附 則

この条例は、令和5年4月1日から施行する。



## 2 食育アンケート調査の結果

### ■対象者

- ・市内全小学6年生・中学3年生
- ・20歳以上の帯広市民

### ■調査方法

- ・小中学生

各学校のタブレットを活用し、Google フォームでの回答により回収。

- ・帯広市民

無作為抽出により抽出した市民 1,000 人に対して郵送により発送し、紙及び Web 回答により回収。さらに、帯広市公式 Facebook・Twitter からアンケートの協力を呼びかけ Web 回答により回収。

### ■調査期間

令和3年11月15日～12月17日

### ■回収結果

- ・小中学生 合計 2,413 人（小学6年生 1,230 人、中学3年生 1,183 人）
- ・帯広市民 有効回答数 453 人

調査方法	発送数	有効 発送数	回収・回答数			回収率
郵送	1,000	994	423			42.6%
			内 訳	紙	324	
				Web	99	
Facebook・ Twitter か らの回答	-	-	-	回答数	うち市民	-
			-	41	30	-

## 第1章

### 計画の策定について

## 第2章

### これまでの取組の 成果と課題について

## 第3章

### 計画の基本的な 考え方について

## 第4章

### 施策の展開について

## 第5章

### 計画の推進体制と 進捗管理について

## 資料編



第1章

計画の策定について

第2章

これまでの取組の成果と課題について

第3章

計画の基本的な考え方について

第4章

施策の展開について

第5章

計画の推進体制と進捗管理について

資料編

小学6年生

※四捨五入の関係で合計が合わない場合があります

問1 あなたは、いつもだいたい、何時に就寝しますか？		
選択項目	回答数	構成比
21 時以前	112	9.1%
21～22 時の間	541	44.0%
22～23 時の間	406	33.0%
23～24 時の間	113	9.2%
24 時以降	58	4.7%
計	1,230	100%

問2 あなたは、いつもだいたい、何時に起床しますか？		
選択項目	回答数	構成比
5 時以前	41	3.3%
5～6 時の間	205	16.7%
6～7 時の間	765	62.2%
7 時以降	219	17.8%
計	1,230	100%

問3 あなたは、朝ごはんを食べていますか？		
選択項目	回答数	構成比
毎日食べる	1,005	81.7%
週に1～2 日食べないことがある	126	10.2%
週に3～4 日食べないことがある	33	2.7%
ほとんど食べない	66	5.4%
計	1,230	100%

問4 （ほとんど食べない）を選んだ理由はなんですか？		
選択項目	回答数	構成比
朝ごはんを食べる時間がないから	24	36.4%
朝は食欲がないから	28	42.4%
朝食を食べる習慣がないから（いつも食べないから）	4	6.1%
朝食が用意されていないから	4	6.1%
その他	6	9.1%
計	66	100%





問5 あなたは、1日の食事のうち、野菜を何回食べますか？		
選択項目	回答数	構成比
1日に3回食べる（毎食）	515	41.9%
1日に1回は食べる	668	54.3%
ほとんど食べない	47	3.8%
計	1,230	100%

問6 （ほとんど食べない）を選んだ理由はなんですか？		
選択項目	回答数	構成比
野菜があまり好きではないから	32	68.1%
食べる習慣があまりないから	5	10.6%
食事に野菜が入っているかどうかわからないから	7	14.9%
その他	3	6.4%
計	47	100%

問7 あなたは、学校給食で牛乳を飲んでいますか？		
選択項目	回答数	構成比
週に5日（毎日）	1,000	81.3%
週に3～4日	82	6.7%
週に1～2日	34	2.8%
ほとんど飲まない	114	9.3%
計	1,230	100%

問8 （ほとんど飲まない）を選んだ理由はなんですか？		
選択項目	回答数	構成比
あまり好きではないから	60	52.6%
アレルギーがあるから	8	7.0%
お腹が痛くなるから	25	21.9%
その他	21	18.4%
計	114	100%

## 第1章

### 計画の策定について

## 第2章

### これまでの取組の成果と課題について

## 第3章

### 計画の基本的な考え方について

## 第4章

### 施策の展開について

## 第5章

### 計画の推進体制と進捗管理について

## 資料編



問9 あなたは、学校給食以外で牛乳または乳製品（チーズ、ヨーグルト、バター、生クリーム、乳酸菌飲料、練乳、アイスなど）をとっていますか？

選択項目	回答数	構成比
週に5日以上	516	42.0%
週に3～4日	470	38.2%
週に1～2日	195	15.9%
ほとんどとっていない	49	4.0%
計	1,230	100%

問10 （ほとんどとっていない）を選んだ理由はなんですか？

選択項目	回答数	構成比
あまり好きではないから	20	40.8%
アレルギーがあるから	5	10.2%
家においていないから	14	28.6%
牛乳・乳製品をとる習慣が無いから	7	14.3%
その他	3	6.1%
計	49	100%

※給食で週5日飲んでいない人は、給食以外とあわせて週5日以上とっていれば対象人数にカウント

問11 あなたは、朝食や夕食を誰と食べる人が多いですか？

選択項目	回答数	構成比
家族全員	588	47.8%
家族の誰かと	579	47.1%
家族以外の誰かと	4	0.3%
一人が多い	59	4.8%
計	1,230	100%

問12 （一人が多い）を選んだ理由はなんですか？

選択項目	回答数	構成比
家族と食事の時間が合わないから	35	59.3%
食事が用意されていないから	1	1.7%
一人で食べるのが好きだから	14	23.7%
その他	9	15.3%
計	59	100%



問 13 あなたは、今まで1度でも農作業体験（学校の授業やイベントなどでの収穫体験・乳しぼり体験、家庭菜園などを含む）をしたことがありますか？

選択項目	回答数	構成比
ある	992	80.7%
ない	238	19.3%
計	1,230	100%

問 14 「ない」を選んだ方へご質問です。選んだ理由を以下の項目からひとつ選んでください。

選択項目	回答数	構成比
どこで農作業体験できるか知らなかったから	35	14.7%
農作業体験をする機会がなかったから	108	45.4%
農作業体験に興味がないから	82	34.5%
その他	13	5.5%
計	238	100%

## 第1章

### 計画の策定について

## 第2章

### これまでの取組の成果と課題について

## 第3章

### 計画の基本的な考え方について

## 第4章

### 施策の展開について

## 第5章

### 計画の推進体制と進捗管理について

## 資料編





第1章

計画の策定について

第2章

これまでの取組の成果と課題について

第3章

計画の基本的な考え方について

第4章

施策の展開について

第5章

計画の推進体制と進捗管理について

資料編

中学3年生

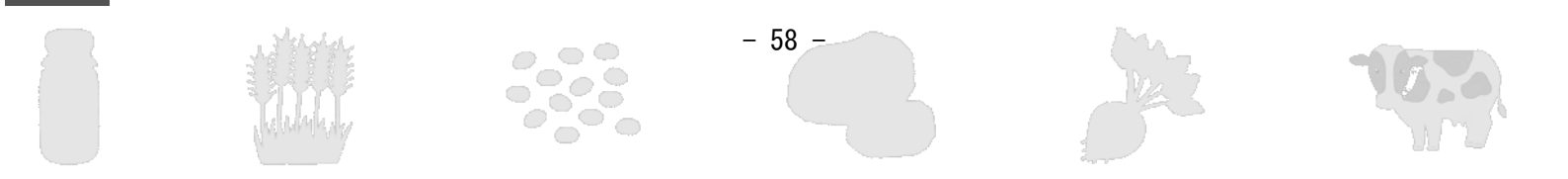
※四捨五入の関係で合計が合わない場合があります

問1 あなたは、いつもだいたい、何時に就寝しますか？		
選択項目	回答数	構成比
21 時以前	91	7.7%
21～22 時の間	296	25.0%
22～23 時の間	475	40.2%
23～24 時の間	307	26.0%
24 時以降	14	1.2%
計	1,183	100%

問2 あなたは、いつもだいたい、何時に起床しますか？		
選択項目	回答数	構成比
5 時以前	22	1.9%
5～6 時の間	118	10.0%
6～7 時の間	664	56.1%
7 時以降	379	32.0%
計	1,183	100%

問3 あなたは、朝ごはんを食べていますか？		
選択項目	回答数	構成比
毎日食べる	978	82.7%
週に1～2 日食べないことがある	114	9.6%
週に3～4 日食べないことがある	36	3.0%
ほとんど食べない	55	4.6%
計	1,183	100%

問4 （ほとんど食べない）を選んだ理由はなんですか？		
選択項目	回答数	構成比
朝ごはんを食べる時間がないから	11	20.0%
朝は食欲がないから	26	47.3%
朝食を食べる習慣がないから（いつも食べないから）	14	25.5%
朝食が用意されていないから	2	3.6%
その他	2	3.6%
計	55	100%





問5 あなたは、1日の食事のうち、野菜を何回食べますか？		
選択項目	回答数	構成比
1日に3回食べる（毎食）	437	36.9%
1日に1回は食べる	715	60.4%
ほとんど食べない	31	2.6%
計	1,183	100%

問6 （ほとんど食べない）を選んだ理由はなんですか？		
選択項目	回答数	構成比
野菜があまり好きではないから	20	64.5%
食べる習慣があまりないから	5	16.1%
食事に野菜が入っているかどうかわからないから	2	6.5%
その他	4	12.9%
計	31	100%

問7 あなたは、学校給食で牛乳を飲んでいますか？		
選択項目	回答数	構成比
週に5日（毎日）	848	71.7%
週に3～4日	72	6.1%
週に1～2日	36	3.0%
ほとんど飲まない	227	19.2%
計	1,183	100%

問8 （ほとんど飲まない）を選んだ理由はなんですか？		
選択項目	回答数	構成比
あまり好きではないから	110	48.5%
アレルギーがあるから	6	2.6%
お腹が痛くなるから	85	37.4%
その他	26	11.5%
計	227	100%

## 第1章

### 計画の策定について

## 第2章

### これまでの取組の 成果と課題について

## 第3章

### 計画の基本的な 考え方について

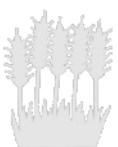
## 第4章

### 施策の展開について

## 第5章

### 計画の推進体制と 進捗管理について

## 資料編



問9 あなたは、学校給食以外で牛乳または乳製品（チーズ、ヨーグルト、バター、生クリーム、乳酸菌飲料、練乳、アイスなど）をとっていますか？

選択項目	回答数	構成比
週に5日以上	464	39.2%
週に3～4日	420	35.5%
週に1～2日	237	20.0%
ほとんどとっていない	62	5.2%
計	1,183	100%

問10 （ほとんどとっていない）を選んだ理由はなんですか？

選択項目	回答数	構成比
あまり好きではないから	23	37.1%
アレルギーがあるから	2	3.2%
家においていないから	16	25.8%
牛乳・乳製品をとる習慣が無いから	19	30.6%
その他	2	3.2%
計	62	100%

問11 あなたは、朝食や夕食を誰と食べることが多いですか？

選択項目	回答数	構成比
家族全員	493	41.7%
家族の誰かと	558	47.2%
家族以外の誰かと	0	0.0%
一人が多い	132	11.2%
計	1,183	100%

問12 （一人が多い）を選んだ理由はなんですか？

選択項目	回答数	構成比
家族と食事の時間が合わないから	104	78.8%
食事が用意されていないから	4	3.0%
一人で食べるのが好きだから	20	15.2%
その他	4	3.0%
計	132	100%



問 13 あなたは、今まで1度でも農作業体験（学校の授業やイベントなどでの収穫体験・乳しぼり体験、家庭菜園などを含む）をしたことがありますか？

選択項目	回答数	構成比
ある	899	76.0%
ない	284	24.0%
計	1,183	100%

問 14 「ない」を選んだ方へご質問です。選んだ理由を以下の項目からひとつ選んでください。

選択項目	回答数	構成比
どこで農作業体験できるか知らなかったから	29	10.2%
農作業体験をする機会がなかったから	155	54.6%
農作業体験に興味がないから	93	32.7%
その他	7	2.5%
計	284	100%

## 第1章

### 計画の策定について

## 第2章

### これまでの取組の 成果と課題について

## 第3章

### 計画の基本的な 考え方について

## 第4章

### 施策の展開について

## 第5章

### 計画の推進体制と 進捗管理について

## 資料編





## 第1章

## 計画の策定について

## 第2章

これまでの取組の  
成果と課題について

## 第3章

計画の基本的な  
考え方について

## 第4章

## 施策の展開について

## 第5章

計画の推進体制と  
進捗管理について

## 資料編

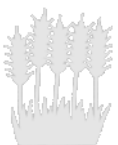
## 帯広市民

※四捨五入の関係で合計が合わない場合があります

問1 年齢		
選択項目	回答数	構成比
20歳代	41	9.1%
30歳代	60	13.3%
40歳代	78	17.3%
50歳代	77	17.0%
60歳代	72	15.9%
70歳代以上	124	27.4%
無回答	1	-
計	453	100%

問2 世帯1		
選択項目	回答数	構成比
一人暮らし	75	16.6%
夫婦のみ	163	36.1%
親子（親族の同居を含む）	167	36.9%
三世帯（親族の同居を含む）	28	6.2%
兄弟姉妹など	3	0.7%
その他	16	3.5%
無回答	1	-
計	453	100%

問2-1 世帯2		
選択項目	回答数	構成比
未就学児	68	29.1%
小学生	49	20.9%
中学生	26	11.1%
高校生以上	91	38.9%
無回答	9	-
計	243	100%





問3 あなたの健康状態について教えてください。		
選択項目	回答数	構成比
大変良い	56	12.6%
良い	300	67.4%
あまり良くない	81	18.2%
良くない	8	1.8%
無回答	8	—
計	453	100%

問4 あなたは「食育」に関心がありますか。		
選択項目	回答数	構成比
ある	120	26.7%
どちらかといえばある	241	53.7%
どちらかといえばない	50	11.1%
ない	14	3.1%
分からない	24	5.3%
無回答	4	—
計	453	100%

問4-1 「ある」「どちらかといえばある」と回答した方へお聞きします。あなたが食育に関心を持つ理由はどのようなことが考えられますか。		
選択項目	回答数	構成比
生活習慣病の増加が問題になっているから	137	38.1%
食生活の乱れが問題になっているから	47	13.1%
子供の心身の健全な発育のために必要だから	119	33.1%
食の循環や環境に対する理解が必要だから	31	8.6%
食文化を守ることが重要だから	10	2.8%
消費者と生産者の間の交流が足りないと思うから	7	1.9%
その他	9	2.5%
無回答	1	—
計	361	100%



## 第1章

### 計画の策定について

## 第2章

### これまでの取組の成果と課題について

## 第3章

### 計画の基本的な考え方について

## 第4章

### 施策の展開について

## 第5章

### 計画の推進体制と進捗管理について

### 資料編

問4-2 「ない」「どちらかといえばない」と回答した方へお聞きします。理由は何ですか。

選択項目	回答数	構成比
食事や食生活を特に意識しなくても生活には困らないから	27	43.5%
活動や行動をしたくても情報が入手できないから	1	1.6%
保育所や学校などで行っているので、必要ないと思うから	1	1.6%
自分の健康に不安がないから	7	11.3%
周囲（家族や友人）が取り組んでいないから	6	9.7%
取り組む理由が分からないから	4	6.5%
食育という言葉の意味が分からないから	10	16.1%
その他	6	9.7%
無回答	2	-
計	64	100%

問5 あなたは朝食を毎日食べていますか。

選択項目	回答数	構成比
毎日食べる	345	77.2%
週に1～2日食べないことがある	35	7.8%
週に3～4日食べないことがある	15	3.4%
ほとんど食べない	52	11.6%
無回答	6	-
計	453	100%





問 5-1 「毎日食べる」「週に 1～2 日食べないことがある」「週に 3～4 日食べないことがある」と回答した方へお聞きします。理由は何ですか。

選択項目（複数選択）	回答数	選択割合
朝食が用意されていないから	5	3.2%
時間が無くて食べられないから	30	19.4%
朝早く起きられないから	16	10.3%
夕食や夜食を多く食べているから	9	5.8%
朝は食欲がないから	40	25.8%
ダイエットをしているから	7	4.5%
朝食を食べる習慣がないから	18	11.6%
休みの日は朝食を食べないから	9	5.8%
その他	21	13.5%
回答数	155	—
無回答	1	—

問 6 あなたは 1 日の食事のうち、野菜を何回食べていますか。

選択項目	回答数	構成比
1 日に 3 回食べる（毎食）	120	26.8%
1 日に 1 回は食べる	312	69.8%
ほとんど食べない	15	3.4%
無回答	6	—
計	453	100%

問 6-1 「ほとんど食べない」と回答した方へお聞きします。理由は何ですか。

選択項目	回答数	構成比
あまり好きではないから	2	13.3%
食べる習慣があまりないから	5	33.3%
野菜を食べる必要がないと感じているから	0	0.0%
調理して食べるのが面倒だから	4	26.7%
野菜を使ったレシピをよく知らないから	0	0.0%
サプリメントなどで必要な栄養を補っているから	0	0.0%
その他	4	26.7%
無回答	0	—
計	15	100%

## 第 1 章

### 計画の策定について

## 第 2 章

### これまでの取組の成果と課題について

## 第 3 章

### 計画の基本的な考え方について

## 第 4 章

### 施策の展開について

## 第 5 章

### 計画の推進体制と進捗管理について

### 資料編





## 第1章

## 計画の策定について

## 第2章

これまでの取組の  
成果と課題について

## 第3章

計画の基本的な  
考え方について

## 第4章

## 施策の展開について

## 第5章

計画の推進体制と  
進捗管理について

## 資料編

問7 あなたは牛乳または乳製品（コーヒ牛乳・チーズ・ヨーグルト・バター・生クリーム・乳酸菌飲料など）を週何日くらいとりますか。

選択項目	回答数	構成比
週に5日以上	236	52.4%
週に3～4日	100	22.2%
週に1～2日	71	15.8%
ほとんどとっていない	43	9.6%
無回答	3	—
計	453	100%

問7-1 「ほとんどとっていない」と回答した方へお聞きします。理由は何ですか。

選択項目	回答数	構成比
あまり好きではないから	7	16.3%
アレルギーがあるから	1	2.3%
家に置いていないから	6	14.0%
牛乳・乳製品をとる習慣がないから	13	30.2%
その他	16	37.2%
無回答	0	—
計	43	100%

問8 あなたは食材を購入するときどのようなことを意識していますか。

選択項目（3つまで選択）	回答数	選択割合
産地	273	60.5%
価格	315	69.8%
鮮度・見た目（美味しそうに見えるか）	274	60.8%
安全であること	189	41.9%
内容量	75	16.6%
生産者の取組等の情報 （生産者が分かる・有機（オーガニック）野菜など）	69	15.3%
特に意識していることはない	15	3.3%
回答数	451	—
無回答	2	—





問9 あなたは十勝産の食材（野菜・卵・牛乳・バター・チーズ・牛肉・豚肉・鶏肉・羊肉・果実など）をよく使いますか。

選択項目	回答数	構成比
よく使う	317	70.3%
たまに使う	124	27.5%
ほとんど使わない	10	2.2%
無回答	2	－
計	453	100%

問9-1 「ほとんど使わない」と回答した方へお聞きします。理由は何ですか。

選択項目	回答数	構成比
国産であれば特にこだわりはないから	2	22.2%
他の産地（他県・外国）のものが安いから	4	44.4%
十勝産の魅力や優位性が分からないから	1	11.1%
産地が分からないから	1	11.1%
その他	1	11.1%
無回答	1	－
計	10	100%

問10 あなたは外食を週何日くらいしますか。

選択項目	回答数	構成比
ほとんどしない	277	62.5%
週に1～2回	141	31.8%
週に3～4回	17	3.8%
週に5～6回	6	1.4%
ほぼ毎日	2	0.5%
無回答	10	－
計	453	100%

## 第1章

### 計画の策定について

## 第2章

### 成果と課題について これまでの取組の

## 第3章

### 計画の基本的な 考え方について

## 第4章

### 施策の展開について

## 第5章

### 計画の推進体制と 進捗管理について

## 資料編



問11 あなたは中食（スーパーやコンビニ等の弁当や総菜、レストラン等でテイクアウトした料理、レトルト食品やインスタント食品など）を週何日くらい利用しますか。

選択項目	回答数	構成比
ほとんど利用しない	173	39.1%
週に1～2回	198	44.7%
週に3～4回	55	12.4%
週に5～6回	8	1.8%
ほぼ毎日	9	2.0%
無回答	10	—
計	453	100%

問12 あなたは栄養バランスを考えた食生活を送ることができていますか。

選択項目	回答数	構成比
ほとんどできている	55	12.4%
概ねできている	250	56.4%
あまりできていない	129	29.1%
全くできていない	9	2.0%
無回答	10	—
計	453	100%

問12-1 「あまりできていない」「全くできていない」と回答した方へお聞きします。  
理由は何ですか。

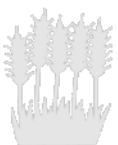
選択項目	回答数	構成比
好きな食材を好きなだけ食べたいから	27	19.9%
手間がかかるから（大変だから・面倒だから）	80	58.8%
必要性を感じないから	2	1.5%
その他	27	19.9%
無回答	2	—
計	138	100%



問 13 あなたはご自身の食事について、今後どのようにしたいと思っていますか。		
選択項目	回答数	構成比
自分で工夫して今よりよくしたい	242	54.6%
栄養士の指導を受けるなどして今よりよくしたい	18	4.1%
今のままでよい	110	24.8%
特に考えていない	73	16.5%
無回答	10	—
計	453	100%

問 14 あなたは新型コロナウイルス感染拡大前と比べて食に対する興味・関心が変化しましたか。		
選択項目	回答数	構成比
高くなった	27	6.0%
どちらかといえば高くなった	56	12.4%
変わらない	365	80.9%
どちらかといえば低くなった	2	0.4%
低くなった	1	0.2%
無回答	2	—
計	453	100%

問 15 「高くなった」「どちらかといえば高くなった」「どちらかといえば低くなった」「低くなった」と回答した方へお聞きします。どのようなことが変化しましたか。（自由記述）	
分類項目	件数
免疫力に関すること	11
自宅での食事・料理に関すること	11
産地等に関すること	8
バランスのとれた食事に関すること	6
その他	3



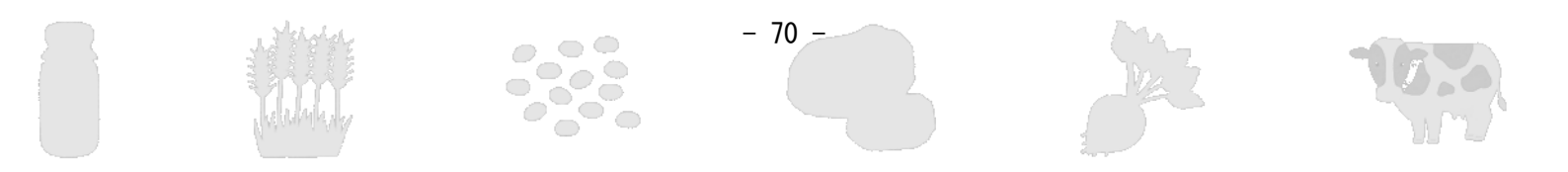




問 16 あなたは新型コロナウイルス感染拡大前と比べて食生活が変化しましたか。		
選択項目	回答数	構成比
変化した	90	20.0%
変わらない	361	80.0%
無回答	2	－
計	453	100%

問 16-1 「変化した」と回答した方へお聞きします。どのようなことが変化しましたか。		
選択項目（複数選択）	回答数	選択割合
自宅で食事をする回数が増えた	64	32.2%
自宅で料理をする回数が増えた	46	23.1%
家族と食事をする回数が増えた	19	9.5%
産地を意識するようになった	18	9.0%
通販（オンライン）を利用して食料品を購入するようになった	3	1.5%
栄養バランスのとれた食事をとるようになった	30	15.1%
オンラインを活用した食事（オンライン飲み会など）をするようになった	4	2.0%
その他	15	7.5%
回答数	199	－
無回答	4	－

問 16-2 16-1 の変化が生じた具体的な理由は何ですか。（自由記述）	
分類項目	件数
外出・外食が減ったため	21
コロナに感染したくないから	6
自分の身は自分で守るため	3
買い物の回数を減らすため	2
おうち時間が増えたため	2
食への意識が高まったため	2
その他	3





問 17 あなたは朝食や夕食を誰と食べることが多いですか。		
選択項目	回答数	構成比
家族全員（一人暮らしを含む）	254	56.4%
家族の誰かと	141	31.3%
家族以外の誰かと	8	1.8%
一人が多い	47	10.4%
無回答	3	－
計	453	100%

問 17-1 「一人が多い」と回答した方へお聞きします。理由は何ですか。		
選択項目	回答数	構成比
家族と食事の時間が合わないから	27	57.4%
家族が朝食または夕食を食べないから	0	0.0%
一人で食べるのが好きだから	11	23.4%
その他	9	19.1%
無回答	0	－
計	47	100%

問 18 あなたは食品ロスの削減に取り組んでいますか。		
選択項目	回答数	構成比
取り組んでいる	340	77.8%
取り組んでいない	97	22.2%
無回答	16	－
計	453	100%

## 第 1 章

### 計画の策定について

## 第 2 章

### これまでの取組の 成果と課題について

## 第 3 章

### 計画の基本的な 考え方について

## 第 4 章

### 施策の展開について

## 第 5 章

### 計画の推進体制と 進捗管理について

## 資料編



問 18-1 「取り組んでいる」と回答した方へお聞きします。どのような取組を行っていますか。

選択項目（複数選択）	回答数	選択割合
食べきれる量を購入する	221	48.9%
冷凍保存を活用する	245	54.2%
料理を作りすぎない	117	25.9%
冷蔵庫等の食材の在庫をこまめに確認する	154	34.1%
残さず食べる	190	42.0%
おすそ分けをする	54	11.9%
賞味期限が切れてもすぐに捨てずに自分で食べられるか判断する	200	44.2%
食べきれなかったものを他の料理に作り替える	105	23.2%
その他	4	0.9%
回答数	452	—
無回答	1	—

問 19 あなたは農作業体験をしたことがありますか。（学校・家庭菜園、職場・イベント等での収穫・搾乳体験を含みます。）

選択項目	回答数	構成比
ある	351	80.5%
ない	85	19.5%
無回答	17	—
計	453	100%

問 19-1 「ない」と回答した方へお聞きします。理由は何ですか。

選択項目	回答数	構成比
どこで農作業体験をできるか知らなかったから	5	6.0%
農作業体験をする機会がなかったから	52	62.7%
農作業体験をすることに興味・関心がないから	20	24.1%
その他	6	7.2%
無回答	2	—
計	85	100%



問 20 あなたは「食育推進サポーター」を知っていますか。		
選択項目	回答数	構成比
知っている	74	16.6%
知らない	373	83.4%
無回答	6	－
計	453	100%

問 21 あなたは「食育推進サポーター」を活用したいと思いますか。		
選択項目	回答数	構成比
ぜひ活用したい	93	21.0%
活用しようと思わない	124	28.0%
分からない	226	51.0%
無回答	10	－
計	453	100%

問 21-1 「活用しようと思わない」「活用しようと思わない」と回答した方へお聞きします。理由は何ですか。		
選択項目	回答数	構成比
食育活動の機会がないから	131	38.1%
サポーターの活用の仕方が分からないから	56	16.3%
食育活動の必要性を感じないから	50	14.5%
取組内容が分からないから	84	24.4%
その他	23	6.7%
無回答	6	－
計	350	100%

## 第 1 章

## 計画の策定について

## 第 2 章

これまでの取組の  
成果と課題について

## 第 3 章

計画の基本的な  
考え方について

## 第 4 章

## 施策の展開について

## 第 5 章

計画の推進体制と  
進捗管理について

## 資料編





## 第1章

## 計画の策定について

## 第2章

これまでの取組の  
成果と課題について

## 第3章

計画の基本的な  
考え方について

## 第4章

## 施策の展開について

## 第5章

計画の推進体制と  
進捗管理について

## 資料編

問22 あなたは「食育」を進める上で、どのような対象者について取り組むことが大切だと思いますか。

選択項目（3つまで選択）	回答数	選択割合
未就学児	131	29.8%
小学生	250	56.8%
中学生	164	37.3%
高校生	99	22.5%
大学生	35	8.0%
大人	111	25.2%
高齢者	90	20.5%
妊婦・授乳婦	79	18.0%
子どもの保護者	189	43.0%
医療・介護を受けている人	48	10.9%
その他	8	1.8%
回答数	440	－
無回答	13	－

問23 あなたは食に関してどのようなことを学びたいですか。

選択項目（複数選択）	回答数	選択割合
食の栄養・食品衛生に関する知識	254	57.6%
食材の特性	205	46.5%
地域の食材を使った加工・調理	244	55.3%
食文化に関する知識	124	28.1%
その他	18	4.1%
学びたいことはない	39	8.8%
回答数	441	－
無回答	12	－



問 24 あなたは「食育」を進める上で、どこで取り組むことが最も効果的だと思いますか。

選択項目	回答数	構成比
家庭	182	41.8%
保育所や学校	149	34.3%
行政	40	9.2%
外食産業	7	1.6%
企業	10	2.3%
地域	39	9.0%
その他	8	1.8%
無回答	18	-
計	453	100%

問 25 食育に関して市に取り組んでほしいことは何ですか。

選択項目（3 つまで選択）	回答数	選択割合
食と健康に関する市民講座や教室の開催をする	106	24.3%
学校給食における地元農畜産物の利用の促進を図る	216	49.5%
学校・幼稚園等での作物栽培・料理教室の機会を増やす	124	28.4%
学校・幼稚園等での農業者や料理人等の食に携わる人との交流の機会を増やす	161	36.9%
地元農畜産物の安全性・優位性についての情報発信を積極的に行う	149	34.2%
郷土料理、伝統料理などの優れた食文化の継承をする	95	21.8%
家庭・学校・地域（団体・企業等）との連携を促進する	143	32.8%
子ども食堂の取組	54	12.4%
フードバンク・フードドライブの取組	41	9.4%
その他	14	3.2%
回答数	436	-
無回答	17	-

第 1 章

計画の策定について

第 2 章

これまでの取組の  
成果と課題について

第 3 章

計画の基本的な  
考え方について

第 4 章

施策の展開について

第 5 章

計画の推進体制と  
進捗管理について

資料編



## 第1章

### 計画の策定について

## 第2章

### これまでの取組の成果と課題について

## 第3章

### 計画の基本的な考え方について

## 第4章

### 施策の展開について

## 第5章

### 計画の推進体制と進捗管理について

### 資料編

#### 問26 食育についてのご意見・ご要望など、ご自由にお書きください。（自由記述）

分類項目	件数
食育全体に関すること	14
食生活に関すること	11
食育の対象者に関すること	9
地元食材・地産地消に関すること	7
情報発信に関すること	7
行政に関すること	6
食品ロス削減に関すること	6
アンケートに関すること	5
安心安全に関すること	4
一次産業への支援に関すること	4
食育活動の拡充に関すること	3
体験活動に関すること	3
その他	12





## 追加アンケート調査

### ■対象者

市内小学校3校（6年生）・中学校3校（3年生）

### ■調査方法

各学校のタブレットを活用し、Google フォームでの回答により回収。

### ■調査期間

令和4年9月28日～10月14日

※四捨五入の関係で合計が合わない場合があります

あなたは畑作4品を知っていますか。			
		回答数	構成比
小学生			
	すべて知っている	19	8.4%
	一部知っている	95	41.9%
	ひとつも分からない	113	49.8%
	計	227	100%
中学生			
	すべて知っている	30	11.6%
	一部知っている	164	63.6%
	ひとつも分からない	64	24.8%
	計	258	100%

すべて知っている、一部知っている人のうち正しい回答			
		回答数	構成比
小学生			
	すべて知っている	7	3.1%
	一部知っている	24	10.6%
	計	31	13.7%
中学生			
	すべて知っている	22	8.5%
	一部知っている	57	22.1%
	計	79	30.6%

## 第1章

### 計画の策定について

## 第2章

### 成果と課題について

## 第3章

### 計画の基本的な考え方について

## 第4章

### 施策の展開について

## 第5章

### 計画の推進体制と進捗管理について

## 資料編

### 3 ピザ・いもだんご・豆腐レシピ

#### ○おうちでできる「ピザ」レシピ

##### 用意するもの

##### ●材料

小麦粉、水、塩  
※インスタントドライイースト  
(※もしあれば。無くても良いです。)  
ピザ用ソース  
ピザ用チーズ  
好みのトッピングの具材

##### ●道具

ビニール袋  
ベーキングシート  
アルミホイル

##### ●使用する調理器具

※ご自宅にあるもので良いです  
フライパン  
トースター  
魚焼きグリル  
オーブンレンジ



#### 1. 生地を作る

材料 (1枚15cm分) … 小麦粉50g、水30g、塩1g、  
※もしあれば、インスタントドライイースト1g  
※なるべく十勝産小麦を使いましょう

① ビニール袋に材料を入れ、袋をふくらませて50回くらい **ふる!** もここが彗! 沢山ふってね!

② 小麦粉と水がまざったら、袋の中で生地をもみながら、さらに良く **まぜる!**

③ 生地を袋から取り出し、手の中で **こねる!**  
半分にちぎってくっつけて、また半分にちぎってくっつけてをくり返す もここが彗!

④ ベーキングシートの上に生地を丸めてのせ、中央から指で押し広げながら **のばす!**

#### 2. ソースをぬってトッピング

材料 (適量) … トマト・バジル・ホワイトソース 等  
玉ねぎ・ベーコン・ウィンナー  
ピーマン・コーン・チーズ 等  
※火が通りにくい食材は、あらかじめ加熱調理して下さい。

⑤ 生地にソースをぬり、最初に具材を、最後にチーズをのせて好きな食材を **トッピング!**

次は、いよいよ、ピザを焼く工程です。  
お家でも出来る方法で、自分でピザを焼いてみましょう!

#### 3. 焼く フライパン & トースター or 魚焼きグリル or オーブンレンジ

※ 加熱時間は目安です。オーブンはあらかじめ予熱しておきましょう。  
家電の種類によって異なりますので、出来具合を見て加減して下さい。

⑥ ピザをベーキングシートにのせたまま、**フライパン**にのせ、生地の裏に色がつくまで焼く (中火約3分)

⑦ 生地の裏に焼き色がついたら、フライパンから一度取り出す



##### トースター

⑧ 具材に火が通り、チーズがとければ完成 (約5~10分)



##### 魚焼きグリル

⑧ アルミホイルの上にピザをのせて焼く (約2~5分)



##### オーブンレンジ

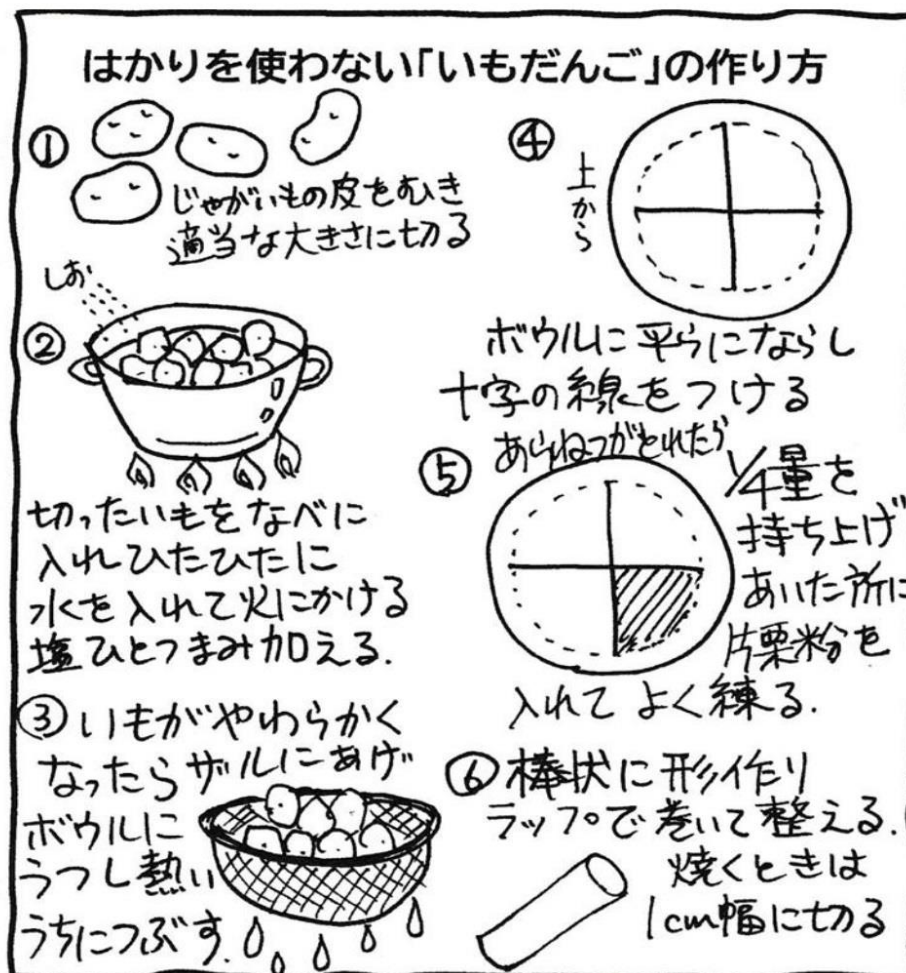
⑧ 天板にベーキングシートをしきピザをのせて焼く (200~240℃で15~20分前後)



美味しいピザの **完成!!**  
色々な具材や、焼き方を試してみよう!

## ○はかりの使わない「いもだんご」レシピ

食の寺子屋直歩塾流 はかりを使わない「いもだんご」レシピ



### ◆食の寺子屋塾長 村田ナホの覚え書き◆

ゆでてつぶしたじゃがいもに片栗粉を加えて焼いた北海道ではおなじみのいもだんごです。私は9人兄弟の末っ子で、大家族の定番おやつと言えばこれでした。忙しかった母親は材料をはかりで量ったりせず、目分量で作っていたことを思い出します。この方法は比率で作るのでどんな量でも大丈夫です。じゃがいもが出回る季節、家族で楽しみながら作っていただけたら嬉しく思います。

### ◆タレはお好みで (すべて鍋に入れ混ぜとろみがつくまで火にかける)

水1/2カップ 砂糖大さじ2 醤油大さじ1 みりん大さじ1/2 片栗粉小さじ1

### ◆レシピ提供

食の寺子屋直歩塾 著作：村田ナホ・浦木明子

食の寺子屋直歩塾チャンネルにて

動画も視聴いただけます



## 第1章

計画の策定について

## 第2章

これまでの取組の成果と課題について

## 第3章

計画の基本的な考え方について

## 第4章

施策の展開について

## 第5章

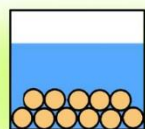
計画の推進体制と進捗管理について

資料編



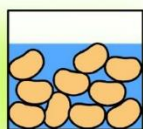
## ○大豆から作る「豆腐」レシピ

### 豆腐の作り方



とちさん だいず  
十勝産大豆を  
みず につ  
水に漬ける。

ひとばん  
一晩



だいず ふく  
大豆が膨らむ。  
つ みず  
漬け水を捨てる。



だいず あたら みず ぐわ  
大豆に新しい水を加え  
大豆を磨り潰す。



ドロドロになった  
だいず に  
大豆を煮る。

やけどに注意！

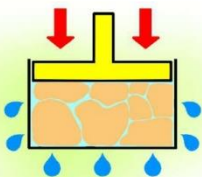


もめん ぬの い しぼ  
木綿の布に入れて搾る。  
とうにゆ かいしゅう  
豆乳を回収する。

### もめん豆腐



あつあつ とうにゅう  
熱々の豆乳をかきまぜながら  
にがりを加える。  
ぐわ  
混ぜるのを止める。  
とうふ かた  
豆腐が固まっていく。



かた とうふ ぐず  
固まった豆腐を崩しながら  
小さい穴の開いた型枠に入れ、  
うえ あつりよく しぼ  
上から圧力をかけて搾る。



みず さら  
水に晒しながら切って  
もめんとうふ  
木綿豆腐のできあがり。

### きぬ豆腐



とうにゅう ひ  
豆乳を冷やす。



ひ とうにゅう  
冷えた豆乳に、にがりを  
ぐわ  
加えてよく混ぜる。



かわ  
乾かないように  
ふた  
蓋をしてから  
ゆせん かつ  
湯煎して固める。



つるんと滑らかな  
きぬとうふ  
絹豆腐のできあがり。

©2019 中田食品